

福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）体系図

基本目標

つくろう  
ことば輝くまち  
つなげよう  
子どもと本の世界

(1)いつでも  
どこでも自分  
から読書に  
親しめる  
環境づくり

※1【重点】…重点的に取り組む施策 ※2 具体的施策の詳細ページ

取組分野 1 家庭・地域を中心とした読書活動の推進

《施策の方向》

《具体的施策》

地域における読書活動の支援【重点】

- ・地域における読書ボランティアの活動支援《新規》
- ・公民館における子どもの読書活動の推進
- ・子ども読書の情報発信《新規》

乳幼児期から大人と一緒に本と触れ合う機会づくりの推進

- ・ブックスタート事業の推進
- ・保護者への読み聞かせの重要性についての啓発
- ・保育所・障がい児通所支援施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実
- ・家庭における読み聞かせの推進

あらゆる場と機会をとらえた子ども読書活動の推進

- ・子どもプラザ、中央児童会館、背振少年自然の家、海の中道青少年海の家における子どもの読書活動の推進
- ・障がい児通所支援施設等での読書活動の推進
- ・その他の施設における子どもの読書活動の推進

取組分野 2 学校における読書活動の推進

《施策の方向》

《具体的施策》

学校図書館の環境整備の充実及び活用の促進【重点】

- ・学校図書館の活性化（小中高）《新規》
- ・図書の適正な整備

子どもの読書活動の実態を踏まえた読書活動の推進

- ・学校教育における読書活動の実態把握と効率的な学校図書館活用の推進（小中高）《新規》

子ども読書活動に関わる人材の活用と連携

- ・学校司書の効果検証
- ・総合図書館との連携による人材育成
- ・読書活動推進を図る研修の充実
- ・子どもの読書活動推進に関する情報提供

障がい等のある子どもの読書活動の支援【重点】

- ・特別支援学校など多様な学びの場における読書活動及び環境の充実

■数値目標■

\* 読書が好きな子どもの割合……………90%以上

\* 1か月に本を1冊以上読む子どもの割合……………5%増

(2)大人も  
子どもも読書  
に親しめる  
機会づくり

(3)子どもの  
読書活動を  
支える  
人材づくり

(4)発達段階に  
応じた子ども  
と本とメディア  
のよい関係  
づくり

(5)市民全体と  
して子どもの  
読書活動を  
支えるしくみ  
づくり

取組分野 3 図書館を中心とした読書活動の推進

《施策の方向》

《具体的施策》

子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供

- ・児童図書、児童研究資料等の収集、提供
- ・子どもと本をつなぐ機会の充実
- ・図書館からの情報提供等の充実
- ・障がい等のある子どもの支援の推進

ヤングアダルト世代に対する読書活動支援

- ・ヤングアダルト等への読書サービスの充実

学校図書館の支援【重点】

- ・学校教育における読書活動の推進支援
- ・学校図書館との連携強化

地域の読書活動の支援

- ・公民館や地域文庫活動への支援

取組分野 4 家庭・地域・学校等の連携の推進

《施策の方向》

《具体的施策》

読書（本）の魅力の発信【重点】

- ・福岡市子ども読書フォーラムの充実
- ・読書（本）の魅力に触れ合うきっかけづくり《新規》

発達段階に応じた子どもと本とメディアのよい関係づくり【重点】

- ・メディアリテラシー教育の推進
- ・読書活動とメディアの関係づくり《新規》
- ・「福岡市子どもと本の日」と「共読」の推進

家庭・地域・学校・図書館等が連携し課題解決を図るための体制の強化

- ・子ども読書関係団体との連携による子ども読書の推進
- ・PTAとの連携による家庭での読書活動の推進
- ・保育所における関係機関・地域ボランティアとの連携の推進
- ・障がい児通所支援施設等における関係機関・地域ボランティアとの連携による取組みの充実



福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）における具体的施策及び進捗状況一覧

<<基本目標>>  
 (1)いつでもどこでも自分から読書に親しめる環境づくり  
 (2)大人も子ども読書に親しめる機会づくり  
 (3)子どもの読書活動を支える人材づくり  
 (4)発達段階に応じた子どもと本とメディアのよい関係づくり  
 (5)市民全体として子どもの読書活動を支えるしくみづくり

1. 家庭・地域を中心にした読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和2年度実施状況及び実績等	⑤具体的な令和3年度の実施内容	⑥備考 その他、工夫したことや報告事項等
		局	課						
地域における読書活動の支援【重点】	1 地域における読書ボランティアの活動支援<<新規>>	教育委員会	ビ図書課サ	(3) (5)	学校や公民館等と地域におけるボランティアとの連携を図り、読書ボランティアの活動の場を広げる。	「読書活動ボランティア交流会」ボランティアの希望者と、公民館等のボランティアニーズのマッチングを行う。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	読書活動ボランティアをつなぐ会を実施予定。	
	2 公民館における子どもの読書活動の推進		ビ図書課サ	(1) (5)	地域における読書活動を支援するために公民館の読書活動を支援する。	スタンパード文庫の活用状況を把握し、より一層スタンパード文庫の活用を図るために読み聞かせ講座等を実施し、公民館の読書活動を支援する。	スタンパード文庫読み聞かせ講座を実施。実施希望20公民館について実施済み。280名参加	スタンパード文庫読み聞かせ講座について、実施希望公民館（20館程度）を選定し実施予定。	
	3 子ども読書の情報発信<<新規>>	市民局	公民館支援課	(1) (2)	子どもが読書に親しむ環境づくりを推進するとともに、文庫活動や読み聞かせサークルへの支援に努める。	「公民館における子どもの読書活動の推進と支援」子どもから大人まで、市民が気軽に公民館へ立ち寄り、読書に親しむ機会を提供するとともに、図書館の団体貸出の活用や、質の高い図書館の読み聞かせ活動への支援を促進する。	公民館では、総合図書館やスタンパード文庫等を利用した一般貸出を実施している。 また、地域団体の文庫活動に対し、公民館の本の活用、ボランティアの発掘につなげる事業の開催などにより支援を行っているほか、団体とともに読み聞かせなどの事業を実施している。 公民館全館の年間合計文庫活動 2,947回、延べ利用人数 8,699人 図書館の貸出回数 20,166回、延べ利用人数 29,519人	子どもが読書に親しむ環境づくりを推進するとともに、文庫活動や読み聞かせサークルへの支援に努める。	
乳幼児期から大人と一緒に本と触れ合う機会づくりの推進	4 ブックスタート事業の推進	教育委員会 子ども未来局	ス図書サービ	(1) (2) (4)	若い世代の未就学児の保護者に対し、メディアを活用して、身近な読書情報の提供を図り、幼少期からの読書活動推進を図る。	未就学児の保護者等に対し、地域の読書に関する情報や、図書館からの新刊情報などをSNS等を活用し情報発信する。	図書館ホームページ及びメルマガにおいて、新刊絵本のおすすめ本の紹介を行った。	図書館ホームページ及びメルマガにおいて、新刊絵本のおすすめ本の紹介を行い、SNSの活用も検討する。	
	5 保護者への読み聞かせの重要性についての啓発		指導監査課	(4)	・家庭における読み聞かせが習慣となる。 ・「福岡市子どもと本の日」の取り組みが、保護者に広く認知されて読み聞かせが意識づけられる。 ・読み聞かせ等を通して親子の絆を深め、親子とも情緒の安定を図る。	・保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性について保護者啓発を行い、読み聞かせの楽しさや大切さを伝え、家庭における読み聞かせを推進する。 ・「絵本の日」や「読み聞かせ会」等の開催、絵本貸出しの充実を図る。 ・絵本への興味や関心が高まるような環境をつくる。	・新型コロナウイルスの影響により、4か月児健診が集団健診ではなく医療機関での個別健診となったため、絵本の配布、ボランティアによる絵本の読み聞かせ等が実施できておらず、対象者には読み聞かせのアドバイスブックレットとともに絵本を郵送した。  ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、家庭訪問や保育参観、懇談会、保護者職員合同研修会等で開催を見合わせたものもあるため、例年通りの取り組みを行っていないが、代替活動としておたよりの発行や連絡ノートでの啓発、ポスター等の掲示、個別対応等で読み聞かせの大切さを積極的に伝えるよう工夫した。また、密を避け距離が取りやすいよう大型絵本を活用する等工夫をした。 ・ノーマディアデーを毎月1回実施し、それに合わせて絵本の読み聞かせ会を実施した。（読み聞かせ会は中止の場合もあり） ・貸出絵本は実施しているが、場合によっては中止している。貸し出しをしない時は、絵本コーナーにおいて絵本や手指消毒を都度行い、親子で読み聞かせできるような場所の提供をする等状況に合わせて実施した。また、定期的に入れ替えをする等貸出絵本の充実を図った。 ・各保育室及び絵本コーナー等についても定期的に絵本の入れ替えを行い、内容を充実させるとともに、絵本に興味を持てるような環境を整えた。 ・日々の保育だけでなく、行事や人権研修等で読み聞かせを行った絵本についても展示した。	R3年6月現在、新型コロナウイルスの影響により、4か月児健診が集団健診ではなく医療機関での個別健診となっているため、絵本の配布、ボランティアによる絵本の読み聞かせ等が実施できておらず、対象者には読み聞かせのアドバイスブックレットとともに絵本を郵送している。 ※集団健診再開時期は未定  ※昨年度と同様の取り組みを実施予定 ・懇談会や家庭訪問、保育参観、研修会、おたより等で読み聞かせの大切さを伝える。 ・ノーマディアデー 毎月23日実施予定。 それに合わせて毎月1回程度親子への読み聞かせ会を開催予定。また、ポスター等において参加の呼びかけを行い、開催後報告を掲示して参加できない保護者にも関心を持ってもらえるようにする。 ・貸出絵本を適宜実施。 ・絵本コーナーは月ごとに装飾し、温かい雰囲気づくりを心掛ける。また、定期的に入れ替えを行い、内容を充実させるとともに、絵本に興味を持てるような環境を整える。 ・日々の保育等で絵本の読み聞かせをし、読んだ絵本を保育室等に展示する。	

乳幼児期から大人と一緒に本と触れ合う機会づくりの推進	6 保育所・障がい児通所支援施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実	こども未来局	指導監査課	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの絵本への興味・関心を高める。</li> <li>日常の読み聞かせを通して、絵本に親しみ、子どもの情緒の安定を図るとともに豊かな感性を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階や興味、活動、季節に応じた絵本の選定や環境作りを行い、子どもが興味や関心を持って見られるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止することもあったが、親子での絵本の読み聞かせ会を実施した。(月に1回程度)</li> <li>各保育室や玄関等で、読んだ絵本や季節や行事に関連した絵本、おすすめ絵本を展示した。</li> <li>子どもの発達や興味に合わせた絵本、季節や行事に関連した絵本を毎日の保育の中で読み聞かせるとともに、設置場所の工夫や絵本を購入し補充を行った。</li> <li>絵本コーナーは、子どもたちが絵本を選びやすいように環境を整備し、年齢や季節などに応じた絵本を補充する等した。</li> <li>職員自身が読み聞かせの良さを学ぶ機会をつくり、その良さを発信できるように努めた。</li> <li>各保育室で毎日必ず絵本の読み聞かせの時間を確保し、必要に応じて一対一での読み聞かせを意識的に行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※昨年度と同様の取り組みを実施予定</li> <li>毎月1回、親子での絵本の読み聞かせ会を実施。</li> <li>各保育室や玄関等で読んだ絵本やおすすめの絵本を適宜展示。</li> <li>子どもの発達や興味に合わせた絵本、季節や行事に関連した絵本の読み聞かせを毎日の保育の中で行うとともに、定期的に絵本の購入、入れ替え等を行って環境を整える。</li> <li>子どもが好きな絵本をいつでも取れるような環境設定をする。</li> <li>職員自身が読み聞かせの良さを学ぶ機会をつくる。</li> <li>毎日必ず絵本の読み聞かせの時間を確保し、少人数の時等は1対1での読み聞かせの機会を意識して作るようにする。</li> </ul>	
			こども発達支援課	(2)	子ども及び保護者に対して、読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「療育の中での読み聞かせの推進」</li> <li>発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整える。</li> <li>保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「療育の中での読み聞かせの推進」</li> <li>発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えた。</li> <li>保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「療育の中での読み聞かせの推進」</li> <li>発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えている。</li> <li>保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行っている。</li> </ul>	
			指導監査課	(4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>※5「保護者への読み聞かせの重要性についての啓発」に同じ</li> <li>家庭における読み聞かせが習慣となる。</li> <li>「福岡市こどもと本の日」の取り組みが、保護者に広く認知されて読み聞かせが意識づけられる。</li> <li>読み聞かせ等を通して親子の絆を深め、親子とも情緒の安定を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※5「保護者への読み聞かせの重要性についての啓発」に同じ</li> <li>保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性について保護者啓発を行い、読み聞かせの楽しさや大切さを伝え、家庭における読み聞かせを推進する。</li> <li>「絵本の日」や「読み聞かせ会」等の開催、絵本貸出しの充実を図る。</li> <li>絵本への興味や関心が高まるような環境設定を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、家庭訪問や保育参観、懇談会、保護者職員合同研修会等で開催を見合わせたものもあるため、例年通りの取り組みを行っていないが、行事やクラスだより、送迎時や絵本だよりの発行等を通して各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性について保護者啓発を行い、読み聞かせの楽しさや大切さを伝え、家庭における読み聞かせを推進した。</li> <li>貸出絵本や月間絵本等において家庭での読み聞かせを推進するとともに、人権や平等テーマを設けた貸出をするなど、絵本への興味や関心が高まるように工夫した。</li> <li>絵本の読み聞かせ会において、保護者自身も読み聞かせをしてもらうことの心地よさを体験することで、家庭での読み聞かせにつながるよう工夫した。</li> <li>絵本の購入や入れ替え等、貸出絵本等の絵本コーナーの充実を図った。</li> <li>保育の中で読み聞かせた絵本等を展示し、保護者等の絵本への興味関心が高まるよう環境設定を行った。また、子どもと一緒に本の日のポスターを掲示し、周知に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※昨年度と同様の取り組みを実施予定</li> <li>家庭訪問、保育参観、懇談会、合同研修会で読み聞かせの大切さを伝えるとともに、職員グループが親子参加の研修で絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの大切さについて保護者に啓発を行う。</li> <li>貸出絵本や、家庭で絵本を楽しむ機会を作り、テーマを設けた貸出など絵本への興味や関心が高まるように工夫する。</li> <li>新規購入など冊数を増やし、入れ替えなど絵本コーナーの充実を図り、絵本を選べる環境を整える。</li> <li>保育の中で読み聞かせた絵本を保育室に掲示することで、子どもと保護者が話したり、興味関心が高まる環境を整える。</li> </ul>	
	教育委員会	教育支援課	(1)	PTAと連携して講座や研修会を実施し、家庭でも子どもが身近に本に親しむ環境づくりを支援する。	福岡市PTA協議会と共催し、家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを学ぶ講座を実施する。	家庭教育支援講座(令和2年度新規事業)のひとつとして、家庭での読書の重要性を伝えるため、福岡市PTA協議会と共催し、小中学生の保護者対象の読書講座を実施予定であったが、PTAと協議のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	市PTA協議会との共催で実施する家庭教育支援講座のテーマのひとつとして、家庭での読書や読み聞かせについて開催予定。		
			(5)						



あらゆる場と機会をとらえた子ども読書活動の推進	8 子どもプラザにおける子どもの読書活動の推進	こども未来局	事業企画課	(1)	全子どもプラザでの取り組みの実施	乳幼児と保護者がいつでも気軽に利用できる、子育てに関する相談や情報交換ができる子育て支援の拠点として設置する子どもプラザにおいて、利用者のニーズに応え、絵本の読み聞かせなどを実施し、子どもと本の出会いを支援する。	利用者の人数制限等、新型コロナウイルス感染防止対策を行いつつ、一部の子どもプラザでスタッフ等による読み聞かせを実施した。平均月1回（参加者10名程度）	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、スタッフ等による読み聞かせ、絵本の紹介等を実施予定。	
	9 中央児童会館（あいくる）における子どもの読書活動の推進		こども健全育成課	(1)	子どもが本にふれあう機会を増やし、保護者への啓発を推進する。	図書の間覧及び貸出、絵本の読み聞かせプログラムを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の間覧貸出を実施</li> <li>・火～金に実施している子育て支援事業の中で読み聞かせを実施</li> <li>・館外活動の中で読み聞かせを実施</li> <li>・一時預かり室での読み聞かせを実施</li> <li>・寄贈品としていただいた本を閲覧、貸出できるように登録</li> <li>・季節のおすすめ本コーナーを設置</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止対策として、読んだ本（手に取った本）の回収箱を設置し、消毒後、本棚へ戻し、利用者に安心して本を読んでもらえるようにした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の報告内容は、引き続き、実施予定。</li> <li>・ボランティアスタッフの方々と連携して、読み聞かせ等を実施予定。</li> <li>・新規購入の際は、利用者のアンケートを参考にするなど、希望に沿った内容を検討材料とする予定。</li> </ul>	緊急事態宣言による、臨時休館中は、オンラインでのプログラムを実施し、その中で、絵本作家の方による読み聞かせを実施することができた。
	10 背振少年自然の家における子どもの読書活動の推進		こども健全育成課	(1)	自然科学等を中心に子ども向け図書を収集、図書コーナーを設置し、子どもがいつでも本に親しむことのできる環境を作る。	ラウンジに設置している図書コーナーにおいて、休憩時間など自由に本に親しめる場所を提供していく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料の充実、更新</li> <li>・分野別に分類、整理</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書の間覧はすべて制限をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書の間覧はすべて制限しているが、感染状況を考慮して再開予定。</li> <li>・福岡市総合図書館から定期的に図書の配本を受け利用促進を図る。</li> <li>・自由に本に親しんでいただく為に、年齢に合った図書資料を準備する。（児童書を中心に絵本や天体、科学系の図書）</li> </ul>	
	11 海の中道青少年海の家における子どもの読書活動の推進		こども健全育成課	(1)	子ども向け図書を収集し、家族利用の際に貸出を進め、子どもだけでなく親子で本に親しむことのできる環境を作る。	海の中道青少年海の家において、施設の特徴を生かした子ども向け図書の収集を進め、子どもの読書活動を推進していく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民総合図書館から定期的に海の自然に関する図書の配本を受け利用促進を図る</li> <li>・本に関する情報を提供する</li> <li>・本の楽しさを伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催事業の内容に関係する図書や、団体の種別に合わせて、絵本やスポーツ関連、アウトドア系の図書を増やし利用促進に取り組んだ。</li> <li>※前期は新型コロナウイルス感染防止対策として図書コーナーを休止していたが、10月より再開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGSなど環境に関連するものや、主催事業の実施に関する図鑑や生き物系の本を意識して選本を行う。</li> </ul>	返却用ボックスを設置し、期間において職員が本棚に戻すようにしている。図書を置いてあるロビーに利用者が来てくれるよう、飾りつけなどを工夫する。
	12 障がい児通所支援施設等での読書活動の推進		こども発達支援課	(2)	※6「保育所・障がい児通所施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実」に同じ  子ども及び保護者に対して、読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	※6「保育所・障がい児通所施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実」に同じ  <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整える。</li> <li>・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「療育の中での読み聞かせの推進」</li> <li>・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えた。</li> <li>・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「療育の中での読み聞かせの推進」</li> <li>・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整えている。</li> <li>・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行っている。</li> </ul>	
13 その他の施設における子ども読書活動の推進（美術館）	経済観光文化局	学芸課（美術館運営部）	(1) (2)	美術に関する子ども向けの図書の収集・展示を通して、子どもたちが本に親しみ、本を読む楽しみを見出す環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館という特色を生かし、美術、特に所蔵作家に関連する子供向けの図書の収集に努め、子どもの読書活動を支援する。</li> <li>・キッズスペースに利用者年齢に応じた絵本・図書を配架し、親子で図書に親しめるような環境を整える。</li> <li>・子ども向け展覧会「夏休みこども美術館」の会場にて、展示作品や展示テーマに応じた図書を紹介することで、より深い読書への興味を促す機会とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、キッズスペースでの配架を中止。</li> <li>・夏休みこども美術館中の図書紹介「夏休みこどもとしゃかん」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として会場等での子ども向け図書配架は行わず、SNS上で展覧会テーマ「こわい」と「美術」に関連する当館所蔵の図書5冊を紹介した。</li> <li>・引き続き子ども図書向けの収集は実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、キッズスペースでの配架を中止している。</li> <li>・夏休みこども美術館中の図書紹介「夏休みこどもとしゃかん」について、SNS上で展覧会テーマの「謎」に関連する当館所蔵の図書6冊を紹介すると同時に、美術情報コーナーにて配架をする予定。</li> <li>・引き続き子ども図書向けの収集を行う。</li> </ul>		
13 その他の施設における子ども読書活動の推進（アジア美術館）		学芸課（アジア美術館）	(1) (3)	アジアの絵本や図書の収集・展示、またボランティアによる読み聞かせを通じて、子どもが本に親しむことのできる環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズコーナーに、常時アジアの絵本・図書を配架し、子どもの読書活動を支援していく。</li> <li>・年間を通じて、当館ボランティアによる月8回の「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」を実施し、子どもが本に親しむ場をつくるだけでなく、子どもの読書を促す人材を育成していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズコーナーに、アジアの絵本・図書を800冊程度配架している</li> <li>・月に1回（年12回）テーマを設けて特集展示を実施。</li> <li>・年間を通じて、当館ボランティアによる月8回の「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」を実施し、子どもが本に親しむ場をつくるだけでなく、子どもの読書を促す人材を育成する（4月～12月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本の読み聞かせは実施していない）</li> <li>・令和2年度より新規応募者を含めた読み聞かせボランティア35名が活動開始予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズコーナーに、アジアの絵本・図書を800冊程度配架している</li> <li>・月に1回（年12回）テーマを設けて特集展示を実施。</li> <li>・年間を通じて、当館ボランティアによる月8回の「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」を実施し、子どもが本に親しむ場をつくり、子どもの読書を促す人材を育成する。</li> <li>・令和2年度より新規応募者を含めた読み聞かせボランティア35名が活動開始予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施していない。</li> </ul>		

あらゆる場と機会をとらえた子ども読書活動の推進	13 その他の施設における子ども読書活動の推進(博物館)	経済観光文化局	学芸課(博物館)	(1)	展示に関する子ども向け図書の収集・閲覧を通じて子どもが本に親しむことのできる環境を作る。	・博物館の特徴を生かし、歴史・民俗・考古・美術に関する子ども向け図書の収集に努め、子どもの読書活動を支援していく。 ・展示に関するコーナーを準備し、子どもが本を手に取りやすい環境を整える。 ・毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心に「本と出会えるミュージアム」で本を紹介することによって、新しい知識を得たいという意欲へ繋げる。	・美術や歴史に関する子ども向けの図書を受け入れ ・展示や時事に合わせた特設コーナーを設け、子どもが興味をもった事柄に関する本を見つけやすい環境を整えた。 7/1~9/22 特別展「PIXARのひみつ展」関連コーナー 10/10~11/29 特別展「ふくおかの名宝」関連コーナー 7/1~11/29 「疫病」コーナー	・引き続き美術や歴史に関する子ども向けの図書を受け入れ ・引き続き企画展・特別展展示や時事に合わせた特設コーナーを設け、子どもが興味をもった事柄に関する本を見つけやすい環境を整える 4/1-6/13 企画展「鬼は滅びない」関連コーナー 4/10-6/27 特別展「ミイラ『永遠の命』を求めて」関連コーナー等 ・「子ども読書の日」を中心に本を紹介予定
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進(市民福祉プラザ)	保健福祉局	地域福祉課	(1)	福祉分野に関する子ども向け図書の収集、貸出を進める。	子ども向け福祉図書の収集、ホームページでの図書の紹介等を行う。	R2.7月末 ・広報誌「ふくふくプラザだより2020年8月号」に子ども向け福祉図書の紹介を掲載 ・ホームページで子ども向け福祉図書の情報発信 ・特設にて子ども向け福祉図書の展示  通年 ・子ども向け福祉図書及び福祉教育に役立つ資料(DVD含む)の収集	R3.7月末 ・広報誌「ふくふくプラザだより2021年8月号」に子ども向け福祉図書の紹介を掲載予定。 ・ホームページで子ども向け福祉図書の情報発信予定。 ・特設にて子ども向け福祉図書の展示予定。 通年 ・子ども向け福祉図書及び福祉教育に役立つ資料(DVD含む)の収集
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進(人権のまちづくり館)	市民局	地域施策課	(1) (2)	図書室が、地域で、大人も子どもも気軽に読書を楽しめる場所となるよう環境を整える。	「おはなし会」「子育て・親育ち講座」気軽に子どもが図書室を利用できるよう工夫をすするとともに、施設の特徴を生かした様々な分野の子ども向け図書の収集を進め、子どもの図書活動を推進する。	「おはなし会」(通年)【6回実施、延215人参加】 人権のまちづくり館にて、中学校ボランティア部が中心となり、乳幼児から保護者を対象に、絵本の読み聞かせ等を実施した。 R2.11.14「ワクワクおはなし会」は、趣向を変えて、参加者同士でお気に入りの本・絵本を紹介・読み聞かせしあう形式で行った。  「子育て・親育ち講座」(通年)【10回実施、延86人参加】 人権のまちづくり館にて、外部講師による絵本の読み聞かせ等を実施し、親子で絵本に親しめる機会を提供した。	・「おはなし会」「子育て・親育ち講座」(通年) 乳幼児から保護者を対象に、絵本の読み聞かせ等を実施する。  ・さまざまな分野の子ども向け図書を収集し、本の貸出等を行い、子どもの図書活動を推進する。
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進(男女共同参画推進センター)		事業推進課	(1)	子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会を提供する。	児童図書、児童研究資料等の収集、提供を行う。	令和2年度は、64冊の児童書を収集。	児童図書、児童研究資料等の収集、提供を行う。
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進(科学館)	こども未来局	こども健全育成課	(1) (2)	ライブラリー活動とおして大人も子どもも展示やイベントで関心をもったことを深掘りし、科学への関心を広げられる環境を作る。	・科学等に関する自由な学習の場として、科学関連を中心とした図書を集積したシステムを設置し、開架式のライブラリーとして気軽に資料の閲覧・貸出を行う。 ・科学関連の児童図書の特集や、子ども向けの読み聞かせイベント等を行う。	【おはなし会】 5/23、6/20、7/25、8/8、8/9、8/10、9/26、10/17、11/21、12/26、1/9、1/30、2/13、3/20 季節や特別展の企画に合わせた内容で実施。 2カ月に1度はボランティアスタッフが読み手を担当。 (8月は夏休みスペシャルとして、おはなし会を3日間実施)  【書棚作り】 季節や特別展の企画に合わせた書棚を作成し、子どもが本に親しむきっかけ作りをしている。 新書紹介：5月：新学期に向けての本・コロナに関する本 7月：夏休みに向けての本・家庭での過ごし方 10月：企画展に向けての本・健康に関する本 秋のどんぐり：9月(本物のどんぐりの枝を展示) AI関連：11月(手作りロボット「ナビオ」作成)	科学等に関する自由な学習の場として、科学関連を中心とした図書を集積したサイエンスナビを設置し、開架式のライブラリーとして気軽に資料の閲覧・貸出を行う。  【読み聞かせ】 季節や特別展の企画に合わせた内容のおはなし会を毎月実施予定。 2カ月に1度はボランティアスタッフが読み手を担当する。  【書棚作り】 季節や特別展の企画に合わせた書棚の作成、子どもが本に親しむきっかけ作りを行う予定。また本年度はサイエンスナビのリニューアルもあり、最新科学に触れることができる書籍を導入する。



2. 学校における読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和2年度実施状況及び実績等	⑤具体的な令和3年度の実行内容	⑥備考 その他、工夫したことや報告事項等
		局	課						
【重点】 学校図書館の環境整備の充実及び活用の促進	14 学校図書館の活性化（小中高） 《新規》	教育委員会	中小 小学校 校教育 課	(1)	学校図書館の活用モデルとなる「学校図書館全体計画」を提示し、学校図書館活性化に向け、各学校が学校長の方針のもと、司書教諭を中心として、組織的に学校図書館運営することができる体制をつくる。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、学校図書館ガイドラインや学校図書館全体計画の作成要領等を周知し、計画に基づく学校図書館運営を図る。	6月末までに各学校で「学校図書館教育全体計画」を作成し、計画に沿って取組を推進している。2月末には、取組みの年度末報告を集約し、取組状況を把握した。 例年実施していた学校図書館担当者連絡会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止。	6月30日までに、各学校で「学校図書館教育全体計画」を作成し、計画に沿って、各学校での取組みを推進する。 学校図書館担当者連絡会を行い、司書教諭と学校司書の連携と学校図書館の活用を促す。	
	15 図書適正な整備		育中育小 課学課学 校校校 教教教	(1)	学校図書館図書標準100%を目指す。	学校図書館の蔵書管理の仕方について、各学校へ周知徹底し、学校図書館図書標準100%を目指す。	7月に蔵書冊数調査を行ったところ、以下の通りであった。 学校図書館図書標準100%を達成している学校 小学校 128校/144校 (88.9%) 中学校 68校/69校 (98.6%) 100%を達成していない学校に対しては、個別に指導した。	7月初旬に蔵書冊数調査を行い、学校図書館図書標準100%を達成していない学校については、個別に指導する。	
			学務 支援課	(1)	学校長による学校予算の編成、年度中途での予算の組み替えなどによる、予算の弾力的な運用により、学校図書館図書標準の100%達成を図るとともに、達成した学校が学校図書館図書標準の100%を維持していけるよう、必要な予算の確保を行っていく。	学校図書館図書標準の100%達成及び維持ができるよう必要な予算を確保し、学校へ分配した。		学校図書館図書標準の100%達成及び維持ができるよう必要な予算を確保し、学校へ分配した。	
推進した読書活動の実態を踏まえての読書活動の推進（小中高） 《新規》	16 学校教育における読書活動の実態把握と効率的な学校図書館活用推進（小中高） 《新規》		中小 小学校 校教育 課	(1) (4)	朝読書の取組や調べ学習等、読書活動や利用状況の実態を把握し、図書館を活用した教育の充実を図る。	学校図書館の運営状況、子どもの時間の使い方、メディアと読書の関係等について調査を実施。調査の結果を踏まえ、子ども読書活動推進のための施策の検討を行う。	・学校図書館担当者連絡会で実践発表や意見交流を予定していたが、中止。 ・学校図書館教育関係の通知文等で、学校図書館の活用を促す文言を随時加えた。 ・各学校の実態を把握するため、R3.1月に調査した。	8月に学校図書館担当者連絡会を実施し、効率的な学校図書館活用推進の実践発表や意見交流を予定している。また、学校図書館教育関係の通知文等に、学校図書館の活用を促す文言を、随時加える。 実態を把握するため、学校図書館の充実に向けた運営に関する調査を1月に実施し、集計・分析を行う。	
子ども読書活動に関わる人材の活用と連携	17 学校司書の効果検証		課中課小 学学学 校校校 教教教 育育育	(1) (3)	現在の配置体制における活用方法と連携の在り方について効果と課題を検証し、今後の読書活動の推進に活かす。	読み上げ冊数調査や司書教諭の関わりについての調査を行い、学校司書配置校における効果と課題を検証し、今後の配置体制の検討を行う。	令和2年11月1か月間の読書量調査を実施。 小学校 一人当たり15.2冊（前年比+0.2冊） 中学校 一人当たり2.8冊（前年比+0.1冊）	学校司書配置の実態調査を行うとともに、11月に読書量調査を行い、昨年度との比較を行う。	
	18 総合図書館との連携による人材育成		中小 小学校 校教育 課	(3)	総合図書館と連携し、小学生読書リーダーを養成するとともに、読書リーダーが学校で活躍できるよう支援する。	小学生読書リーダー養成講座を実施するとともに、読書リーダーの活動状況を調査し、各校へ情報提供に努める。	今年度は例年通りの小学生読書リーダー養成講座は実施できなかったが、動画や資料等を配信し、各学校で希望者を対象に講座を開催した。	令和2年度同様、福岡TSUNGARUCloudを活用した小学生読書リーダー養成講座を実施する。	
	19 読書活動推進を図る研修の充実		課中課小 学学学 校校校 教教教 育育育	(3)	研修内容を充実し、読書活動に携わる教員の育成を図る。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、学校図書館運営に関する情報や、各校の取組状況等を提供する。	学校司書研修会を7月、11月に行った。第3回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 学校図書館担当者連絡会も新型コロナウイルス感染防止のため中止。	年3回の学校司書研修会や夏季休業中の学校図書館担当者連絡会をオンラインで実施し、情報共有を図る。	
		人材育成課	(3)	研修講座における研修内容の充実	「研修講座」 ・平成17年度、「本との出会いが楽しくなる読書活動」研修講座を開始して以来、学校での実践や学校図書館での実践に学ぶ研修講座を毎年開催しており、今後も継続実施する。	読書活動 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	研修講座「読書活動」の実施 ・目標：子どもが積極的に読書に親しみ、楽しみながら読書の習慣を身に付けることができる読書活動のあり方を実践的に習得する。 ・講師：佐賀女子短期大学 白根 恵子 教授 ・期日：8月24日（火）13：45～16：45 ・対象：小中特高の教員（希望者） ・内容：講義、演習（ビブリオバトル、アニメーション等）		
	20 子どもの読書活動推進に関する情報提供		課中課小 学学学 校校校 教教教 育育育	(3)	図書館教育・読書活動推進に係る情報提供を継続して実施する。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、文科省通知をはじめとする様々な情報を提供する。	文科省通知等届いた際は、その都度情報提供に努めている。 学校図書館の利活用を推進するリーフレットを年度末までに作成し、各学校に配布する。	司書教諭や学校司書に対して、具体的な情報の提供を図る。「学校図書館活用の手引き」の改訂を引き続き行う。	
【重点】 障がい等読書活動の充実	21 特別支援学校など多様な学びの場における読書活動及び環境の充実		発達 教育 センター	(1) (3)	障がいのある児童生徒のニーズに合った、特別支援教育における読書環境の充実を行う。	「特別支援教育における読書活動の推進」 ・特別支援学校での読み聞かせボランティアの活動を推進する。 ・特別支援学校における読書活動にかかわる教材教具を充実する。 ・特別支援学校の図書室や視聴覚室など読書環境を充実する。	・読み聞かせボランティアの活用 ・ブックトラム（移動図書館）の利用 ・福岡市総合図書館福岡市学校図書館支援センターと連携し、ブックトークを実施 ・令和2年4月デジ教科書について教育委員会一括利用申請を行い、各学校に周知（小学校25校、中学校5校、特別支援学校2校が利用） ・関係課とアプリやデータの購入方法を協議	・教科書展示会場にデジ教科書の体験コーナーを設置 ・令和3年4月デジ教科書について、教育委員会一括申請し、利用方法等を各学校へ周知。児童生徒一人一台端末で使用できるよう関係課と連携。	

3. 図書館を中心とした読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和2年度実施状況及び実績等	⑤具体的な令和3年度の実施内容	⑥備考 その他、工夫したことや報告事項等
		局	課						
子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供	22 児童図書、児童研究資料等の収集、提供	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	・子どもが読書の楽しみを発見し、読書に親しむことができるような資料の収集に努め、提供を行う。 ・国内外の児童図書や児童文化の研究及び子どもの読書活動に係る資料、国際理解を深めるための世界の絵本の収集に努め、提供を行う。	・子どもが発達段階に応じ、読書に親しむことができるように児童図書等の収集を体系的、計画的に行い、提供する。 ・国内外の児童文化の研究のための資料や子どもの読書活動に役立つ資料の収集を計画的に行い、提供する。 ・世界の絵本については、広く世界各国の絵本の収集に努め、提供する。	・児童図書の蔵書冊数は、総合図書館と分館で約450,000冊。 ・子どもの読書や児童文化を研究するための児童研究資料は、総合図書館で約30,000冊。 ・世界の絵本は、70カ国、約6,600冊。	・児童図書等の収集を体系的、計画的に行い提供する。 ・子どもの読書や児童文化を研究するための児童研究資料の収集を計画的に行い提供する。 ・世界各国の絵本の収集に努め提供する。	
	23 子どもと本をつなぐ機会の充実		図書サービス課	(1) (2)	図書館の利用を通じて、より多くの子どもが本につながるような機会の充実を図る。	・子どもが読書の楽しさを知り、読書のきっかけとなり、継続的に読書に親しむことにつながるように、ブックスタートフォローアップの事業やおはなし会等を行う。 ・「図書館の達人講座」や図書館見学、職場体験等を通じ、読書や情報の拠点としての図書館について、子どもの関心を高め、図書館の利用につながる機会の充実を図る。	・ブックスタートのフォローアップ事業として行っている乳幼児向けおはなし会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、令和2年11月より一部再開。開催回数3回、参加人数45人。 ・図書館を利用した調べ学習の方法や、図書館利用に関する基本的知識を習得してもらうための「夏休み図書館の達人講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・令和2年10～11月に、こども図書館内で図書の請求記号に関する問題プリントへのチャレンジ企画を行い、延べ643人の参加があった。	・新型コロナウイルス感染拡大防止措置の状況に応じて、乳幼児向けおはなし会の再開を検討するとともに、図書館見学や職場体験についても受け入れを進める。 ・「図書館の達人講座」は、動画での実施を検討する。	
	24 図書館からの情報提供等の充実		図書サービス課	(1) (2)	資料や子どもと本、子どもの読書、図書館の利用に関する情報等の充実を図り、積極的に提供する。	・子どもの本や読書についての情報紙「こどもとよかんニュース」、ホームページで新刊紹介をする。 ・図書館の利用案内等について、提供内容や方法を随時検討し、充実させる。 ・各年齢に応じたおすすめの本のリスト「モデル児童図書リスト」を作成し、広く配布する。 ・子どもからのレファレンスや保護者からの読書相談について、的確に対応し、子どもの本に対する興味をより深めるようにする。	・「こどもとよかんニュース」については、発行回数6回、各号約1,600部を発行・配布。また、ホームページにおいて、毎月新刊の紹介を行っている。 ・こども図書館の図書の展示等について、今年度から作成の図書館「展示インフォメーション」に毎月掲載し、利用案内とともに提供している。 ・令和2年度「モデル児童図書リスト」を約3,900部配布。 ・読書等の相談について、こども図書館において、約3,800件のレファレンスを行った。	・「こどもとよかんニュース」を定期配付するとともに、ホームページにおいて、毎月新刊の紹介をする。 ・図書館の利用案内等の充実について、随時検討する。 ・「令和3年度モデル児童図書リスト」を配付するとともに、「令和4年度モデル児童図書リスト」を作成、発行する。 ・レファレンス、読書相談においては、子どもの読書への興味や関心を汲み取り、適切に対応する。	
	25 障がい等のある子どもへの支援の推進	図書サービス課	(1) (2)	障がいのある子どもたちにも本と出会う機会づくりを行い、読書の楽しさを実感してもらう。	・こども図書館や分館において、障がいのある子どもに対応する児童図書等の資料の充実を図る。 ・特別支援学校や障がい者施設等に対して、団体貸出や郵送貸出等の制度について、広く周知に努め、利用を促進する。 ・学校図書館支援センターにおいて、特別支援学校への支援を進める。	・子ども向け大活字本約650冊、布の絵本約200点を所蔵している。今後も収集に努める。 ・障がい（基準あり）があり図書館に行くことが困難な人向けに、郵送貸出サービスを実施している。 ・団体貸出登録をしている特別支援学校や障がい者施設等に対して貸し出しを行った。 ・学校図書館支援センターで要請のあった特別支援学校を訪問、高等部の卒業生を対象に図書館利用案内の配付を行った。また、読書に困難のある児童生徒のために、マルチメディアDAISY等の資料貸出を開始した。	・団体貸出登録をしている特別支援学校や障がい者施設等に対して周知に努め、貸し出しを行う。 ・学校図書館支援センターで要請のあった特別支援学校を訪問、高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を配布予定。		
			こども未来局	こども発達支援課	(1)	点字図書館だよりを配布し、点字図書館を周知することで、利用推進を図る。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図る。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図る。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図った。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図った。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図っている。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図っている。
読書活動支援	26 ヤングアダルト等への読書サービスの充実	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	読書離れの傾向が見られるヤングアダルト層（中・高校生）等に対して、読書や図書館への興味・関心を喚起するとともに、図書館の利用を促進する。	・総合図書館及び分館にヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書の展示等を行うとともに、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストを作成・配布することで、読書普及のための広報を実施する。 ・小・中学生に対し、学校図書館支援センターや各学校と連携し、図書館貸出登録を促進する施策を実施する。 ・市立高校に対して、学習支援や今後の支援方法を探ることを目的に、図書館資料の貸出を実施する。	・YAコーナーを設置し本の展示やブックリストの配布を行っている。 ・人気漫画「鬼滅の刃」に登場する場所や着物、刀などに関する本を紹介し、夏休みの自由研究の参考として提案した。（ブックリスト配布） ・電子図書館を開館して、ヤングアダルト向けの特集を設け、電子書籍を提供した。また、「International Games Week2020」に参加して、各部門が連携して、ゲームに関する展示を行い、関係する様々な本を紹介した。さらに、高校生向けの国連講演会をオンラインで実施した。 ・市立高校に対して、一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を試行的に継続した。（貸出しなし）	・電子図書館も活用してヤングアダルト向けに図書の紹介を行うことに加え、ヤングアダルト層を対象とするイベントを、新型コロナウイルス感染拡大防止措置の状況を確認しながら実施する。 ・市立高校に対して、一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を試行的に継続し、利用状況やアンケート等により今後について検討する。	



学校図書館の支援【重点】	27 学校教育における読書活動の推進支援	教育委員会	図書サービス課	(3)	児童の主体的・意欲的な読書活動を推進し、豊かな心の育成と学力向上を図る。	「小学生読書リーダー養成講座」小学5～6年生を対象に小学生読書リーダー養成講座を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分散実施を前提に、講座内容及び教材の調整を行い、「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した講座を、9月に各小学校に依頼し実施した。 認定者427人（37校）	「福岡TSUNAGARU Cloud」を活用した講座を、6月に各小学校に依頼し実施する。
	28 学校図書館との連携強化		図書サービス課	(1) (5)	学校の授業や子どもたちの読書活動において、子どもたちが有効な情報を収集し、効果的に活用する能力をはぐくむとともに、子どもたちが本に触れ、本に親しむ機会を創出することを目的として、学校図書館への支援を行う。	①学校図書館への団体貸出の拡充 ・団体貸出による読書活動用図書の貸出 総合図書館団体貸出で所蔵する図書を、学校図書館や学級文庫に、1回につき1,000冊以内、4ヶ月の範囲内で貸し出す。また、利用促進のための広報を行うとともに、利用しやすい貸出方法などを検討し、学校図書館等への貸出の充実に努める。 ・学校図書館支援センターによる学習支援用図書の貸出 調べ学習など授業で活用する学習支援用図書（小学校用・中学校用）を貸し出すとともに、順次学習支援用図書の充実に努める。 ②学校図書館の活用・利用促進支援 ・学校図書館支援センターで、学校図書館を効果的に運営できるように学校訪問や運営相談を実施し、学校図書館の活用や利用促進に関するアドバイスする。	①学校関係の団体貸出登録数は79校、貸出冊数は39,990冊 学習支援用図書の貸出の登録数は179校、貸出冊数は6,335冊 ②支援実績 ・学校図書館支援センターだよりの発行 3回 ・相談件数175回 ・学校訪問件数84回（31校）	①貸出の利用促進のための広報を行い、利用しやすい貸出方法などを検討し、学校図書館等への貸出の充実に努める。また、授業等で活用する学習支援用図書についても引き続き、学校の要望に応じて貸出を行う。 ②学校訪問や運営相談を実施し、学校図書館の活用や利用促進に関するアドバイス（助言）を行う。
地域の読書活動の支援	29 公民館や地域文庫活動への支援	教育委員会	図書サービス課	(2) (3) (5)	家庭・地域における子ども読書活動を活発化することを目的として、身近な図書館としての地域文庫活動、子どもの読書に関するボランティア活動の支援を行う。	「地域文庫活動の支援」 〈団体貸出の拡充〉現在、団体貸出の利用がない公民館等への情報提供や、地域文庫活動に関する相談対応等の支援を行うことにより、新規登録団体を増やし団体貸出の拡大を図る。 〈読書活動ボランティア講座の開催〉地域における読書活動のリーダーである読書ボランティアの育成と資質向上を目的として、読書活動ボランティア講座を開催する。また、「地域文庫マップ」を作成して講座終了者へ配布し、地域文庫活動に関する情報提供を行う。 〈地域文庫交流会の開催〉地域のニーズを把握し、実情に合った支援が行えるよう教育委員会生涯学習課と連携しながら、地域文庫ボランティア同士の情報交換とネットワークの構築、活動の活性化を図るために地域文庫交流会を開催する。	・登録団体数は419団体のうち地域文庫79団体となっている。また、配本冊数は令和2年4月から令和3年3月で39,990冊である。 ・読書活動ボランティア講座の開催 「読み聞かせコース」を令和2年9月から10月に実施し、延べ116名が参加した。講座受講者へ「地域文庫マップ」を配布した。 ・地域文庫交流会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	・団体貸出の利用がない公民館等への情報提供や、地域文庫活動に関する相談対応等の支援を通して、団体貸出の新規登録を勧奨する。 ・読書活動ボランティア講座について、新型コロナウイルス感染拡大防止措置の状況に応じて、5月から6月予定の「読み聞かせコース」を9月から10月に変更し実施するとともに「地域文庫マップ」を配布予定。また、地域文庫交流会についても実施予定。



4. 家庭・地域・学校等の連携の推進

施策の方向	具体的施策	担当課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和2年度実施状況及び実績等	⑤具体的な令和3年度の実施内容	⑥備考 その他、工夫したことや報告事項等
		局	課						
読書（本）の魅力の発信【重点】	30 福岡市子ども読書フォーラムの充実	教育委員会	図書サービス課	(2) (3) (5)	「福岡市子どもと本の日」の啓発イベントとしての「子ども読書フォーラム」をより身近な場所で開催することで、子どもの読書活動の重要性を認識してもらい、各家庭や地域、学校で子どもと大人に読書活動の場を提供する。	・市民の読書団体の活動の様子の紹介、学校などでの読書活動への取り組みの報告、読み聞かせを実施する。 ・子どもと保護者、市民とボランティア団体等子ども読書関係者が集まり、相互交流や情報交換の重要な場となるため、市民全体の取組みとなるように広く参加団体を募る。	子ども読書フォーラムを12月5日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	実施方法の見直しを行い、読み聞かせボランティア団体などの関係団体と協力し読書フォーラムを開催予定。	
	31 読書（本）の魅力に触れ合うきっかけづくり 《新規》		図書サービス課	(3) (4) (5)	本の魅力を知る人から情報を発信することで、子どもや保護者に本の魅力を伝える。	ホームページやSNS等を活用した情報発信や、コンテンツの実施などによる本の魅力発信を行う。	教育委員会ホームページ及び総合図書館ホームページで、福岡市子どもと本の日通信やおすすめ本の紹介を掲載。	教育委員会ホームページで毎月、本の日通信やおすすめ本の紹介を掲載するとともに、SNSによる情報発信や事例の紹介等に取り組む。	
発達段階に応じた子どもと本とメディアのよい関係づくり【重点】	32 メディアリテラシー教育の推進	こども未来局	教育支援課	(4)	子どもがメディアを適切に使いこなすことができるよう、メディアリテラシー教育を推進する。	保護者や子育て関係者等に、ワークショップなどを通じて、メディアや家庭でのルールづくりに関する情報を提供していく。	・中学校の入学説明会で保護者向けのメディア啓発リーフレットを配布 ・学校の要望に応じて講師を派遣し、メディア利用に関する啓発を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	・引き続き、中学校の入学説明会で保護者向けのメディア啓発リーフレットを配布予定 ・学校やPTAの要望に応じて講師を派遣するなど、メディア利用に関する啓発を実施予定（R3年度後期を予定）	
	33 読書活動とメディアの関係づくり 《新規》		図中小学校サ校校一教育課	(4)	子どもの発達の段階と、その時期での適切なメディア使用を考慮し、読書とメディアのよい関係づくりを目指す。	専門家等の意見を聞きながら、子どもの発達段階と、適切なメディア使用を考慮した読書活動を検討し推進する。	・令和2年度中に電子図書館を開館し、電子図書館の特徴を生かした、音声読み上げや文字拡大機能がある本等も含め、良質で魅力のある本も向けの本を収集した。 ・「ゲームクリエイターが中学生にすすめる本はこれ！」を全市立中学生に配布（約37,000部）	電子図書館を活用して、こども向けの良質で、ニーズの高いコンテンツの収集に努める。	
			指導監査課	(4)	「福岡市こどもと本の日」の取り組みが保護者に広く認知され、読み聞かせが意識づけられる。家庭においてメディアとのよい関係づくりが意識されるよう支援する。	・保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性、メディアの子どもへの影響等について保護者に伝えていく。 ・「絵本の日」や「ノーメディアの日」を設ける等、意識できる工夫を行う。	・毎月1回23日等をノーメディアデーとし、親子での絵本の読み聞かせを推奨したり、ノーメディアデー前日にノーメディアカードを配布して啓発に取り組んだ。あわせて、絵本の読み聞かせ会を実施した。（読み聞かせ会は中止の場合もあり） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、家庭訪問や保育参観、懇談会、保護者職員合同研修会等で開催を見合わせたものもあるため、例年通りの取り組みを行っていないが、行事やクラスだより、個別の声掛けなどで読み聞かせの楽しさや読み聞かせの大切さを伝えた。また、保育所の一斉メールにて、親子で簡単に作れるおもちゃを紹介したり、啓発のポスターを掲示した。 ・保小中での連携のもと、ノーメディアデーの取り組みをすすめた。 ・保育の中で読み聞かせを行った絵本を展示した。	※昨年度と同様の取り組みを実施予定 ・毎月23日をノーメディアデーとし、親子での絵本の読み聞かせを推奨したり、ノーメディアデーの前日にノーメディアカードを配布、カードの内容の見直し等を行い取り組みを強化する。また、ノーメディアデーに合わせて絵本の読み聞かせ会を実施。保護者自身にも読み聞かせの心地よさを体験してもらう。 ・懇談会や保育参観、研修会、送迎時等で各年齢に応じた絵本の取組や家庭における読み聞かせの重要性、メディアの子どもへの影響等について保護者に伝え、メディアに代わる遊びを紹介したり、啓発のポスターを各クラスに掲示する。 ・小学校、中学校と連携を取っておたより等で啓発を行う。 ・保育の中で読み聞かせを行った絵本を展示する。	
	34 「福岡市子どもと本の日」と「共読」の推進	教育委員会	図書サービス課	(4) (5)	「福岡市子どもと本の日」（毎月23日）が市民に広く認知され、この日を中心に大人と子どもが共に「共読（ともどく）」などの読書活動を行い、また、子どもの読書のために自主的な市民活動が開催されるよう啓発していく。	・「福岡市子どもと本の日」をきっかけにして、子どもが保護者とともに読書に親しむなど、市民への啓発を行う。 ・「共読（ともどく）」などの推進することで、家庭や地域などあらゆる場所での読書活動が実施されるよう啓発し、書店や出版業界を始め、企業と共働するなど、連携を進めていく。	・映画配給業者と共同して「共読」や「福岡市子どもと本の日」を啓発するポスターを作成し、市PTA協議会と連名で学校や公共施設に配布（1回実施）。 ・毎月23日に福岡市庁舎内で市長による子どもと本をの日の周知啓発を呼びかける放送を実施し、学校向けの掲示板に福岡市子どもと本の日通信を配信している。	・映画配給業者と共同して「共読」や「福岡市子どもと本の日」を啓発するポスターを作成し、市PTA協議会と連名で学校や公共施設に配布する。 ・毎月23日に福岡市庁舎内で市長による子どもと本をの日の周知啓発を呼びかける放送を実施し、学校向けの掲示板に福岡市子どもと本の日通信を配信する。	

家庭・地域・学校・図書館等が連携し課題解決を図るための体制の強化	35 子ども読書関係団体との連携による子ども読書の推進	教育委員会	中小学校教育課	(5)	福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）の進捗状況を把握し円滑な進捗に向けた検討を行う。	「福岡市子ども読書活動推進会議」図書関係者等による同会議を設置し、年2回実施する。同会議において、計画の進捗状況を把握するとともに、子どもの読書活動推進のために課題解決に努める。	福岡市子ども読書活動推進会議を開催、計画の進捗状況を把握し、子ども読書活動推進の課題等について協議した。 ・第1回書面開催（8月） ・第2回（R3.1.28予定）→書面開催へ変更	福岡市子ども読書活動推進会議を開催、計画の進捗状況を把握し、子ども読書活動推進の課題等について協議する。  ・第1回（R3.7.19予定。オンライン開催） ・第2回（R4.2月頃予定）	
	36 PTAとの連携による家庭での読書活動の推進		教育支援課	(1) (5)	※7「家庭における読み聞かせの推進」に同じ  PTAと連携して講座や研修会を実施し、家庭でも子どもが身近に本に親しむ環境づくりを支援する。	※7「家庭における読み聞かせの推進」に同じ 福岡市PTA協議会と共催し、家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを学ぶ講座を実施する。	家庭教育支援講座（令和2年度新規事業）のひとつとして、家庭での読書の重要性を伝えるため、福岡市PTA協議会と共催し、小中学生の保護者対象の読書講座を実施予定であったが、PTAと協議のうえ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	市PTA協議会との共催で実施する家庭教育支援講座のテーマの一つとして、家庭での読書や読み聞かせについて開催予定。	
	37 保育所における関係機関・地域ボランティアとの連携の推進		こども未来局	指導監査課	(5)	・公民館や子育てサークル等において地域ボランティアとの連携を図る。 ・地域の未就園児親子に、絵本の楽しさや親子触れ合いの大切さを伝える。	・子育てサークルやサロン等に参加し、読み聞かせを実施する。 ・保育所内外での読み聞かせ（読書活動）の充実に向け、図書館や公民館等の関係機関や地域ボランティアと連携を図る。	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から育児イベント等で中止となったものもあるが、公民館や子育てサークル等と連携を取りながら実施し、絵本の楽しさや重要性を知らせた。 ・雨天時の園庭開放日に地域の未就園児の親子が来所した際には、ホールにおいて絵本の読み聞かせの機会を持つ等絵本の楽しさや親子触れ合いの大切さを伝えた。 ・保育所内外での読み聞かせ（読書活動）の充実に向け、図書館や公民館の関係機関や地域ボランティアと連携を行った。	※昨年度と同様の取り組みを実施予定 ・公民館や子どもプラザ、人権まちづくり館育児支援、子育てサークルやサロン、子育てイベント等の中で、絵本の読み聞かせや展示を行い、絵本の楽しさや重要性を伝えたり、助言等を行う。 ・関係機関の担当者と打ち合わせ等連携を図り、参加者の年齢や興味に応じた具体的な計画を立案し、実施予定。 ・保育所内外での読み聞かせ（読書活動）の充実に向け、図書館や公民館の関係機関や地域ボランティアと連携を行う。
	38 障がい児通所支援施設等における関係機関・地域ボランティアとの連携による取組みの充実			こども発達支援課	(2) (5)	ボランティア団体との連携により、こども及び保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	出版業者、点字図書館のほか、おもちゃ図書館、朗読・拡大写本などのボランティア団体との連携により、障がいのある子どもたち向けの図書の作成・充実を図り、保護者にもその活用を進める。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図った。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図った。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図っている。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図っている。